

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	出産育児一時支給事業			事業コード	1674
担当課等	所属名	市民部 健康保険課	担当係名		
	課長名	市民部 健康保険課	担当者名	鈴木 祐子	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	いきいきとして安心できる暮らし	コード 1	施策	暮らしを支える制度の充実と自立支援	コード 5
	基本事業	国保制度の健全運営	コード 2	関連予算 費目名	国民健康保険費特別会計 2款 4項 1目 出産育児一時金(001-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒(開始年度 34年度～)					
事務事業の概要	被保険者が出産したときに、該当被保険者世帯の世帯主に対し、出産育児一時金として39万円(産科医療補償制度対象分娩は42万円)を支給する。					
根拠法令等	国民健康保険法第58条及び盛岡市国民健康保険条例第5条					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
国民健康保険法第58条及び盛岡市国民健康保険条例第5条による。平成6年から助産費と育児手当金を一緒にした改正が行われ、支給額が大幅に引き上げられた。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
国の指導及び議会からの要望によって、平成13年4月から出産育児一時金の貸付制度を設けた。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
平成21年1月に産科医療保障制度の開始により制度対象分娩については、3万円を加算し38万円の支給とした。また、少子化社会に対応した子育て支援の一環として、平成21年10月より支給金額をさらに4万円増加し、国保から医療機関へ出産費を直接支払う、直接払制度が行われている。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	盛岡市国民健康保険加入者のうち出産した者	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 盛岡市国民健康保険加入者のうち出産した者	単位	人
				B.	単位	
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ◎保険証年次更新時または国保加入時に、本事業をはじめ各給付事業周知パンフレットを配布 ①国保加入者が出産したとき、申請によって出産した者の属する世帯主(国保税納税義務者)に対し、39万円(産科医療補償制度対象分娩については3万円加算)を支給する。 ②出産費資金貸付事務(病院への支払いが困難な者に対する貸付制度) ③直接払制度(国保から医療機関への直接支払い) 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 前年同様	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 出産育児一時金受付件数	単位	件
				B. 出産費資金貸付受付件数	単位	件
				C.	単位	
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	国民健康保険加入世帯の出産育児に係る経済的な負担の軽減を図る。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 出産育児一時金支給額 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	千円
				B. 出産費資金貸付支給額 【指標の性格: ● 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	千円
				C. 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ○ 維持する】	単位	
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	健全に運営される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	保険者負担額(単位:千円) 1人当たり療養諸費費用額(単位:円) 現年度収納率(単位:%) 実質単年度収支額(単位:千円)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	盛岡市国民健康保険加入者のうち出産した者	人	248	270	270	299	336	336	年度
対象 指標B									年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	出産育児一時金受付件数	件	248	270	270	299	336	336	年度
活動 指標B	出産費資金貸付受付件数	件	24	10	10	0	10	10	年度
活動 指標C									年度
成果 指標A	出産育児一時金支給額	千円	88100	106643	121380	122149	141120	141120	年度
成果 指標B	出産費資金貸付支給額	千円	6880	3072	3360	0	4200	4200	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	88,100	106,643	121,380	122,149	145,320	145,320	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	88,100	106,643	121,380	122,149	145,320	145,320	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	88,100	106,643	121,380	122,149	145,320	145,320	*****
延べ業務時間数		時間	156	156	156	156	156	156	*****
職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)		千円	624	624	624	624	624	624	*****
トータルコスト(A)+(B)		千円	88,724	107,267	122,004	122,773	145,944	145,944	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由: 出産育児に伴う経済的負担が軽減されている。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: 「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容: 給付額を増額することで、世帯の経済的負担が軽減される。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容: 国民健康保険法に規定されているため廃止はできないが、廃止した場合、出産があった世帯での経済的負担が増大する。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名: ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由:
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 少子化社会に対応した子育て支援策として継続していく必要がある。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由: 給付業務全体の事務量が増加しており、他業務と平行して事務処理行っている状況であり難しい。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 国民健康保険法第58条及び盛岡市国民健康保険条例第5条の規定による。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由: 国民健康保険法第58条及び盛岡市国民健康保険条例第5条の規定による。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革／改善方向	①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1、代替案その2とすること 平成21年10月より始まった直接払い制度の周知 ②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む) 国保窓口だけでなく、妊婦や出産と関係が深い保健所等を通じての周知。
---------	---

5. 課長意見

一次評価	(1)一次評価者としての評価結果 ① 必要性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ② 有効性 ○ 妥当 ● 見直し余地あり ③ 効率性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり ④ 公平性 ● 妥当 ○ 見直し余地あり	(2)全体総括(振り返り、反省点) 23年3月までの少子化対策として、時限措置支給額を21年10月から4万円加算し、42万円とされたが、平成23年4月からは、健康保険法施行令が改正され、恒久措置となった。 また、同じく22年10月から、医療機関の窓口で一旦支払う必要の無い直接払い制度が導入され、現在では、ほとんどの方がこの制度を利用している。 ただし、医療機関での費用が42万に満たない場合の差額の申請が漏れている場合があるため、申請勧奨や制度の仕組みの周知に努めたい。		
今後の方向性と改革改善案	(3)今後の事務の方向性(改革改善案) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓ 時期: 年度から </td> <td> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↓</p> 方向付けの理由と改革改善の内容		<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓ 時期: 年度から	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 ↓ 時期: 年度から	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携			